

道徳通信かがわ

第15号

平成27年12月2日(火)

香川県教育委員会事務局

義務教育課

総合授業リーダー 公開授業 特集

10月22日、11月19・20・25日は、道徳の総合授業リーダーの公開授業が行われました。

10月22日、まんのう町立満濃中学校 大平 希 指導教諭の公開授業(中学校2年)では、「考え、議論する道徳」として、モラルジレンマ(道徳的葛藤)資料を使用し、真の友情について生徒が積極的に考えを交流しました。生徒たちは、読み物資料で状況をつかみ、ネームカードで自分の考えを明らかにした後、考えを発表しました。



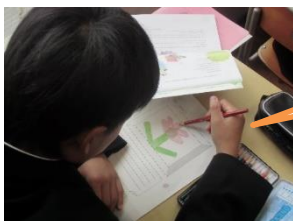
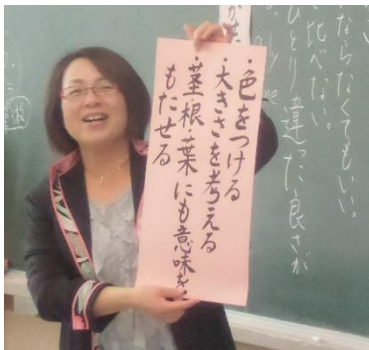
自分の考えを黒板上に示しています。迷っている場合は、ライン上にネームカードを置き、全員の意見を聞くことができます。

討論のために、自分の考えを友達に説明しています。

終盤で、「私たちの道徳 中学校」p.65の「saying この人の一言」を大平指導教諭が範読した後、今日の授業を通して考えたことと、これからの自分について書く時間を設定し、立ち止まって自分を振り返る時間を確保しました。



11月19日、高松市立屋島中学校 河田 真紀 教諭の公開授業(中学校1年)では、読み物資料「世界に一つだけの花」を読んで主人公の心の中を考えた後、「自分が咲かせたい花」を描き、なぜその花を咲かせたいのかをグループ内で伝え合いました。生徒たちは自分の咲かせたい花を描き、「周りのみんなを明るくする人間になりたいからカラフルな花にしました」、「大地に根をおろした花になりたいので根っこをしっかり描きました」などと花の特徴や理由を伝え合いました。まとめでは、「みんな違う花を描き、やりたいことややりたいものが違うことが分かった」、「自分の花を級友がほめてくれてうれしかった」などの感想が聞かれました。



自分の咲かせたい花を画きます。

グループで花の特徴を伝え合います。





11月20日、高松市立中央小学校 青木 隆明 教諭の公開授業（小学校4年）では、「わたしたちの道徳 小学校3・4年」p.66～の読み物資料「心と心のあく手」を使って、本当の親切とはどのようなものかを話し合いました。本時子ども達に考えさせたい内容が明確で、導入時には、日常生活にありがちな「配り係ではないけれど、配る」「ランドセルを運んでくる」「ドリルをしている人に答えを教える」の3場面を紹介し、「これって親切？」と投げかけました。また、Yes-Noカード、ハートカード、附箋等を使って、ペアや全体での話し合いをしやすい工夫を見せていただきました。



Yes-No カード



ハートカード



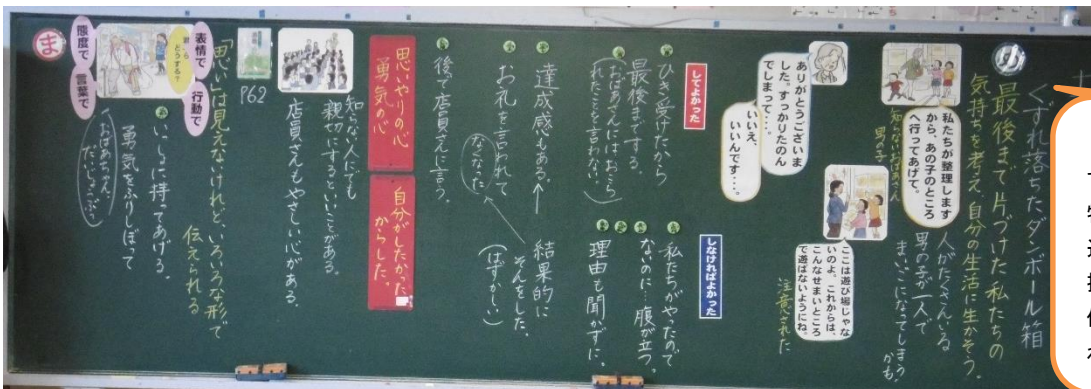
それぞれが書いた附箋を持ち寄り、同じ意見をまとめていきます。

操作したハートカードを使って、自分の考えを説明します。

先生も胸に心情円盤を付け、子どもとともに考えました。



11月25日、善通寺市立南部小学校 宮武 有奈 教諭の公開授業（小学校5年）では、「誰に対しても親切にする」という、学年段階にふさわしい内容を考えさせました。読み物資料の登場人物の心の中の葛藤を捉えるために、個人に持たせた心情円盤を操作し、道徳ノートに自分の考えを書かせました。その後、自分の考える割合の心情円盤を胸に付けて、友達と自由に交流しました。終盤には、「私たちの道徳 5・6年」p. 62の詩を教師の範読で紹介し、同じ詩が使用されたCM映像を見せて、本時のまとめである、これからの生き方を考える活動につなぎました。



授業後の板書です。このほか、読み物教材の内容を振り返るために挿し絵を提示する画面と、映像用のTVが使用されました。

総合授業リーダーの公開授業に見られる **ピカイチ技**

- 一、 本時、子どもに考えさせたい内容が明確。
- 一、 日常生活の「いいのかな?」「何だか変」を本時の課題につなぐ。
- 一、 中心的な活動に入るまでの時間が短い。（長くて10分程度）
 - 中心的な活動の時間・終末の時間の確保
- 一、 適切な活動・教具を選択。
- 一、 道徳の時間の確実な実施。子どもも先生も「道徳は楽しい!」